

3月16日、田川市の市長、副市長、教育長が「イクボス宣言」。

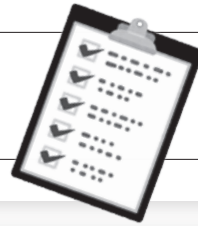
「仕事と家庭の両立」に向けた取り組みを市が率先して始める。
これを契機に、市全体に機運を広げ、みなさんとともに、誰もが働きやすく暮らしやすいまちを目指します。

男女共同参画週間(6月23日~29日)

平成29年度キャッチフレーズ 男で○、女で○、共同作業で◎。

あなたはいくつ当てはまる? イクボス度チェックリスト

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 職場でも家族やプライベートの話を笑顔でできる | <input type="checkbox"/> 時間をかけずに、結果を出せる自信がある |
| <input type="checkbox"/> 話し下手な部下には自分から話題を提供できる | <input type="checkbox"/> 興味の幅が広く、どんな話にも耳を傾けられる |
| <input type="checkbox"/> 部下の家族構成を知っている | <input type="checkbox"/> 人生を楽しんでいる |
| <input type="checkbox"/> 保育園から呼び出しがあった部下を温かく送り出せる | <input checked="" type="checkbox"/> 2個以下：イクボス度 20%以下 |
| <input type="checkbox"/> 部下が帰宅しなければいけない時間を把握している | <input checked="" type="checkbox"/> 5~3個：イクボス度 50%以上 |
| <input type="checkbox"/> 部下が急に1人抜けても対応する方法を用意している | <input checked="" type="checkbox"/> 8~6個：イクボス度 70%以上 |
| <input type="checkbox"/> 部下の成長を常に考えている | <input checked="" type="checkbox"/> 10~9個：イクボス度 90%以上 |
- ※出典「ふじのくにイクボス心得帖」

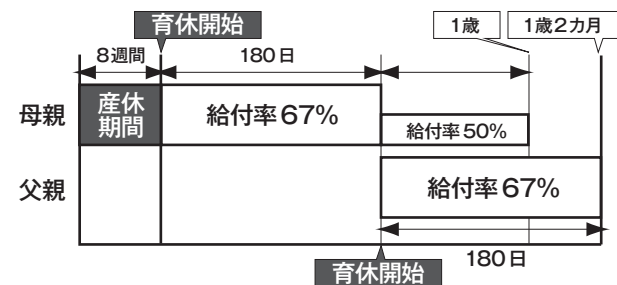


知っていますか? あなたを支える法制度のこと。

【パパ・ママ育休プラス制度】

育児休業とは、子どもが1歳(一定の要件を満たす場合は、1歳半)に達するまで認められている休業のことです。「パパ・ママ育休プラス制度」によって、父母が共に育児休業を取得する場合、一定の要件を満たせば、育児休業取得可能期間を、子どもが1歳2カ月に達するまでに延長することができます。

●育児休業期間と支給額のイメージ



【育児休業給付金・介護休業給付金】

育児休業中または介護休業中の生活をサポートするために、雇用保険から支給される給付金です。原則として、育児休業給付金は、休業開始前の賃金の67%が支給されます(休業開始から6か月経過後は50%)。介護休業給付金は休業開始前の賃金の67%が支給されます。また育児休業給付金は対象の子どもが1歳に達する日(一定条件を満たす場合は1歳2か月)、介護休業給付金は対象家族について93日を限度に支給されます。

【育児・介護休業法の主な改正内容】(平成29年1月1日施行)

- 介護休業の分割取得
 - 介護のための所定労働時間の短縮措置等
 - 介護のための所定外労働の制限(残業の免除)
- ※詳しくは、田川公共職業安定所に問い合わせください。(☎44-8609)

「イクボス」がいる。 そんな職場、いいね!

平成27年度に実施した「田川市男女共同参画社会づくりに向けた市民意識調査」。そこから見えたものは「仕事」と「家庭」の両方を優先したい」という理想を多くの人たちが抱きながら、叶えられていないという現実でした。そんな今だからこそ「イクボス」の出番です!

職場環境の改善、待ったなし!

2025年以降は「介護ラッシュ」。なんと3人に1人が要介護になるという時代を迎え、仕事と介護を背負う人が増えていきます。もはや仕事か家庭か、どちらかを選ばなければならない状況が現実が、目前に迫っているのです。

また、急速に人口減少が進む昨今では、社会を支える人材の確保や育成が急務です。しかし、さまざまな事情を抱えていても、それを両立させて活躍できる職場でなければ、十分に力を発揮することはできません。

「イクボス」が変える職場環境

男女がともに仕事と家庭を両立

できる職場環境の実現には「長時間労働が当たり前」という男性中心型の働き方を見直すことが必要です。そのためには、長時間労働を削減し、女性だけに育児や介護の負担を求めないなど、働き方や暮らし方への意識改革が求められます。その手助けとなる存在が「イクボス」です。

「イクボス」とは「職場で共に働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の結果も出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者・管理職)」のことです。それは、何か特別な能力を持った上司ではありません。「部下とのコミュニケーションを大切にする」という意識と行動が力を与えているのです。

「イクボス」5つのいいね!

ワーク・ライフ・バランスの推進は、従業員の福利厚生のためだけではなく企業の「経営戦略」でもあるのです。

部下のやる気や満足度が向上し、生産性が上がります。

時間外勤務や長時間労働が削減されることで、コストも削減できます。

企業イメージが向上します。

優秀な人材を獲得し、その定着を図ることができます。

企業の業績が向上します。

ゆめっせフェスタ 2017 「あなたらしく生きる」

参加費 無料

「あなたがあなたらしくキラキラと輝ける社会になるためには…。その秘訣を、テレビでおなじみのトコさんが軽快なトークでわかりやすくお届けします。

また、男女共同参画社会の実現を目指し、長年活動を続けている「たがわ21女性会議」のみなさんが創作劇を披露。昨年11月開催の「笑って納得!DKS寸劇バトル」で優勝した実力が光ります。

講演中は、おりがみ教室と紙ねんど教室(いずれも小学生対象)を同時開催するほか、講演終了後には、特産物や手作りパンなどのバザーを行います。また、来場者にはオリジナルバックをプレゼントします。※手話通訳・無料託児あり。

●とき 6月17日(土)13時(開場12時30分)

●ところ 田川文化センター

●内容

【第1部】創作劇「見ようや!聞こうや!言おうや!」(たがわ21女性会議)

【第2部】講演「あなたらしく生きる」講師 トコさん(コラムニスト)

●申込期限 6月16日(金)

※託児、おりがみ教室、紙ねんど教室は6月12日(月)まで※先着順

